

オフィスの緑化で、アイデアが生まれる環境に

～生産性を向上させるための工夫～

①

最近、一部の従業員に覇気が感じられないんだ。それに生産性も低下しているようだ。

それは問題ですね。その問題を解決するために、御社のオフィス環境について考えてみましょう。

もっとクリエイティブな発想がほしいんだ

観葉植物などは置いてありますか？

②

いきなり変なことを言うね。うちのオフィスはあまり特徴はないかな。机と椅子が並んだだけの普通のオフィスだよ。

でしたら、オフィス環境にバイオフィリックデザインを導入してみてもいいでしょうか。

観葉植物なんて置いてないよ

③

バイオフィリックデザインとは、オフィス環境に観葉植物などの自然とのつながりを設けることで、生産性・創造性の向上を目指す取組のことで、ある調査*によると、バイオフィリックデザインを採用した環境と採用していない環境を比べた場合に、採用した方が従業員の生産性や創造性が向上したという結果も出ていますよ。

それは面白いな

観葉植物は造花でも構いません

*HUMAN SPACESが、16か国のオフィスワーカー7,600人を対象に調査したところ、植物や自然の要素の採用されている環境で働く人の方が、そうでない人に比べて、生産性が6%、創造性が15%高いという結果がでた。

④

試しにオフィスにバイオフィリックデザインの一環として、観葉植物を導入してみたところ、従業員らも、作業に集中できるようになった気がすると言ってくれました。また、数値上も売り上げは従来どおりなのに、残業が抑制されるなどの効果も出てきています。

バイオフィリックデザインにより、様々なアイデアが生まれた！

観葉植物の癒し効果により集中力が増した気がします！

◇：人間には先天的に「自然を好む性質＝バイオフィリア」（例えば、森林浴で心が落ち着いたりすること）が備わっている。そのバイオフィリア仮説をオフィス環境に適用することで、従業員の認知機能、集中力や創造力を向上させ、ストレスを減少させる効果が期待されている。

取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：50名

従業員の生産性が向上しない原因として、ストレスと仕事の疲れが日常的になっていることが考えられたため、そのストレスや疲れを軽減させるバイオフィリックデザインをオフィス環境に導入した。

＜バイオフィリックデザインにおける3つの基本原則＞

1. 自然との直接的なつながり
 - ・視覚的・非視覚的な自然とのつながり
 - ・水のある環境、温度と空気循環の変動制
2. 自然との間接的なつながり
 - ・生物に似た形・柄
 - ・複雑性と規則性
3. ヒトの空間に対する反応
 - ・眺望、隠れ家的要素
 - ・ミステリー、スリル



オフィスに観葉植物を設置！

オフィスに観葉植物等の自然空間や隠れ家的空間を演出することで従業員のリフレッシュ！集中力向上につながる！

- ・バイオフィリックデザインを導入したことにより、従業員の欠勤率や離職率が低下し、人材確保につながった。
- ・集中力が向上し、生産性が向上したことで、残業が削減され、36協定の上限を引き下げた。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【令和3年度 厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市中区千種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-006-802

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com